

No. 101

製品名		アセチレン						国連番号		1001						
化学名		アセチレン						SAMPLE								
該当法法規対応・危険有害性																道路法
消防法						毒物及び劇物取締法			高圧ガス保安法							
類別						指定可燃物	品名 (法別表)	毒物	劇物	特定毒物	一般高圧ガス	液化石油ガス	施行令第19条の12、13			
第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類											
特性	危険性			有害性					環境汚染性		性状					
	禁水性	爆発性	可燃性	有害ガス発生			目・皮膚に触れると危険	河川への流入注意	固体	液体	気体	水溶性				
				常温	可燃時 火災時	水に接触										
		●	●										●			
事故発生時の応急処置																
<p>① 車両を安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、エンジンを停止し、車止めをする。)</p> <p>② 事故の発生を大声で告げ、付近の人を風上に避難させる。</p> <p>③ 事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。</p> <p>④ 容器を覆っているシート等を取り除き、ガスが滞留しないようにする。</p> <p>⑤ 風上より災害拡大防止措置(消火、容器を立てる、漏れ止め、容器冷却、容器移動等)を行う。 災害拡大防止措置が困難な場合は、自らすみやかに避難する。</p> <p>⑥ 下記事項を消防署、警察署に通報する。</p> <p>⑦ 関係機関(荷主会社、運送会社、地域防災組織等)へ連絡する。</p>																
緊急通報																
119(消防署)・110(警察署)・高速道路の非常電話																
[緊急通報例]																
1. いつ ○○時○○分頃																
2. どこで ○○市○○地区(国、県、市)道○○号線○○付近で																
3. なにが 『アセチレンガス(高圧ガス、可燃性ガス、分解爆発性ガス)』が																
4. どうした 漏れています。/漏れて火災になっています。																
5. ケガ人は ケガ人がいます。(救急車をお願いします)/けが人はいません。																
6. 私の名前は ○○運送会社 ○○です。																
緊急連絡																
荷送会社						運送会社										
住所						住所										
電話						平日・昼間										
						休日・夜間										
						休日・夜間										

製品名	アセチレン	国連番号	1040
化学名	アセチレン	SAMPLE	

### 災害拡大防止措置

#### <漏洩したとき>

- ① 通風をよくしてガスが滞留しないようにする。転倒した容器必ず直立して処理する。
- ② 防災工具を用い、風上より容器バブル又は漏えいしている部分を静かに増締めし、漏れを止める。
- ③ 漏れが止まらない時は着火源を避け、通風の良好な安全な場所で大気に拡散させる。

#### <発火したとき>

- ① 近くに着火源がなくガスが滞留しない安全な場所で、風上より消火し、漏えい防止処置を施す。
- ② 容器の温度が高い場合は、発火容器及び周辺容器に十分散水した後、周辺容器を安全な場所に移動する。  
分解爆発性ガスなので、散水は容器の温度があがらなくなるまで継続する。
- ③ (バルブを締めても安全弁からガスが漏えいし、発火しているときの処理方法)  
容器内温度上昇を防ぐため、容器全体に噴霧散水しながら、容器内にガスがなくなるまで燃焼させる。

#### <周辺火災のとき>

- ① 容器を安全な場所へ移動する。
- ② 移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水する。

#### <救急処置>

- ① (火傷の処理)  
水を用いて患部を冷やし、できるだけ早く医師の手当てを受ける。
- ② (酸欠の処理)  
新鮮の空気のある場所に移す。呼吸困難な場合は酸素吸入を施す。  
できるだけ早く医師の手当てを受ける。

#### 特記事項

- ① ガスが漏えいした場合、空気中の濃度が2.5%を越えると、火災や爆発の危険性が生じるので、ガスが覆っているシート内に滞留しないよう注意する。
- ② 発火温度や着火エネルギーが低く、容易に着火しやすいため、火炎だけでなく、高熱物、化繊材の服の静電気や工具使用時の火花等の着火源にも注意が必要である。
- ③ 分解爆発性ガスなので、着火している容器の漏えいを防止した後も、容器内の温度が上昇していないことを、しっかり確認しておく必要がある。
- ④ 容器内充てん圧力: 15℃で1.5MPa[ゲージ圧]  
爆発範囲 : 2.5~100% (空気中)  
相対密度 : 0.91 (空気より軽い)  
色・におい : 無色・ニンニク臭 (純粋なものは無臭)